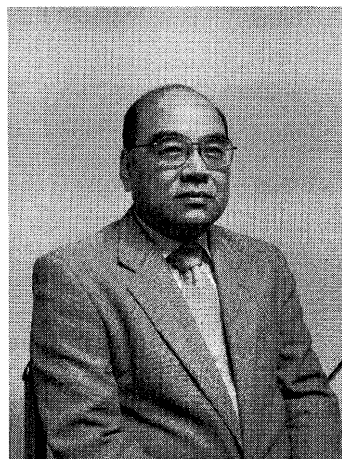


巻 頭 言

富山大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長
升方 勝己

平成 18 年 4 月、池野教授からの引継ぎを受けてラボラトリー長を務めさせていただく事になりました。VBL の創生と整備に尽力された先生の意味を引き継ぎ、微力ながらその発展に努めたいと考えております。

ところで、富山大学は平成 16 年度の独立法人化、17 年度の県内 3 大学の統合を経て、新生富山大学として大学改革に取り組んでおります。新生富山大学はその理念として「地域に根ざした大学として、地域への貢献、社会への貢献」を掲げており、産学連携推進は最重要課題の一つとして位置づけられます。富山大学 VBL は、地域共同研究センターと共に産学連携推進の中核として、その機能の充実を図ることが強く求められているところです。VBL の役割を着実に実施するとともに、センターとの密な連携の下、その機能向上に向けた体制の改善に努めたいと考えております。



VBL ではベンチャーシーズ創出を目的としたプロジェクト研究を推進しております。推進研究領域として「環境調和型生体・化学物質の創製と応用」「超高速情報伝達デバイスの創製と応用」「極限環境条件下の物性解明と新素材の創製・加工並びに評価」の 3 領域を設定し、現在 22 のプロジェクト研究が実施されております。これらのプロジェクトの推進を図るとともに、研究中心からベンチャー創出型への転換が重要と考えています。また、その成果を社会へ発信して具体的なベンチャービジネスへ結び付け、それを育成していく必要があります。平成 19 年度には医薬バイオ、ナノテク、IT、環境など、今後成長が期待される分野の研究開発型ベンチャーや創業者及び新たな事業化を目指す企業等の皆様の事業化を支援するための施設である富山市新産業支援センター（レンタルラボ）が学内に設置されます。これをインキュベーションの場として活用し、大学発ベンチャー創出・育成を目指したいと考えております。

一方、アントレプレナー教育（起業家教育）を通じたベンチャーマインド育成は、もとより VBL 重要な役割です。このため、大学院講義としてベンチャー総合実践経営論を実施するとともに、アントレプレナーセミナー、ビジネスプランコンテストを通じて学生のベンチャーに対する意識の向上と関連知識の習得に努めております。加えて今年度新たに MOT（技術経営）講座を開講しました。同講義は大学院生に加えて学外者に開放しておりますが、民間企業等からも多数の参加者を得て順調なスタートとなっております。

富山大学 VBL も設立から 6 年目を向かえ、その成果が問われる時期となっております。一つでも多く目に見える成果を得るよう全力を尽くしたいと思いますので、引き続き皆様方のご支援をお願い申し上げます。